

# お知らせ

平成26年11月14日



国土を整え、全力で備える

国土交通省  
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Chugoku Regional Development Bureau

資料提供先 鳥取県政記者会  
鳥取市政記者クラブ  
岡山県政記者会

## 鳥取自動車道全線開通による効果 ～沿線地域の活性化に鳥取自動車道が貢献しています～

にしあわくら おおはら

平成25年3月23日に西粟倉IC～大原ICが開通したことで、鳥取自動車道は全線開通となりました。このたび、鳥取自動車道の全線開通の効果について、データ等を取りまとめましたので、お知らせします。

### 交通の変化

- ・鳥取自動車道の交通量は、H25年(全線開通後)とH22年(鳥取県内全線開通後)を比較すると、平日で4～30%、休日で2～28%増加しています。
- ・用瀬IC～智頭IC間では、鳥取自動車道と国道53号を合わせた断面交通量のうち、大型車が38～40%増加しています。

### 整備効果（鳥取県内）

#### ○観光振興

- ・鳥取～大阪間の高速バスの利便性が向上し、利用客数も増加しています。
- ・減少傾向だった観光入込客数が増加傾向となっています。
- ・中部地方や近畿地方からの観光客が増加しており、観光集客エリアが拡大しています。

#### ○産業・経済

- ・鳥取自動車道の開通に伴って、鳥取県東部地域への企業誘致件数が増加し、工業団地の分譲率も上昇しています。
- ・所要時間の短縮により、関西圏との水産物直販事業が行われるようになりました。

#### ○文化・生活

- ・鳥取自動車道沿線市町村への移住定住者数が増加しています。

### 整備効果（岡山県内）

#### ○観光振興

- ・沿線観光施設への観光客入り込み客数が増加しています。

#### ○文化・生活

- ・鳥取自動車道沿線の地域間交流が増加しています。

#### 問い合わせ先

##### (交通量、鳥取県内の整備効果に関すること)

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 TEL:0857-22-8435(代表)  
副所長(道路) 川上 隆三 (かわかみ りゅうぞう)  
【担当】 計画課長 前田 文雄 (まえた ふみお)

##### (岡山県内の整備効果に関すること)

国土交通省 中国地方整備局 岡山国道事務所 TEL:086-214-2220(代表)  
副所長(改築) 松村 守 (まつむら まもる)  
【担当】 計画課長 山下 英夫 (やました ひでお)

## 鳥取自動車道 整備効果

主な内容			ページ	
1.事業概要			1	
2.交通の変化		(1) 交通量の推移	2	
		(2) 断面交通量の変化	3	
3.整備効果	鳥取県内	観光振興	(1) 広域交流人口の増加(高速バスの利便性向上)	4
			(2) 観光入込客数の増加	5
			(3) 観光集客エリアの広域化	6
			(4) 交流人口の広域化(道の駅利用客の出発地分布の変化)	7
			(5) 観光ルートの変化	8
			(6) 沿線地域の観光振興	9
	産業・経済	(7) 企業進出の促進	10	
		(8) 企業の物流活動支援	11	
		(9) 水産物の流通拡大	12	
	文化・生活	(10) 地域活性化への寄与(定住促進)	13	
	岡山県内	観光振興	(1) 観光施設への来訪者増加	14
			(2) 交流人口の広域化と沿線地域の交流促進	15
		文化・生活	(3) 地域活性化の活動支援	16

# 1. 事業概要

平成25年3月に西粟倉IC～大原ICが開通したことで、鳥取自動車道は全線開通となり、高速道路ネットワークが形成されました。

## 事業概要

起 終 点	自：兵庫県佐用郡佐用町口金近 至：鳥取県鳥取市本高
整備延長	62.3 km
道路規格	佐用JCT～河原IC 第1種第3級 河原IC～鳥取IC 第1種第2級
設計速度	佐用JCT～河原IC 80km/h 河原IC～鳥取IC 100km/h

## 位置図



## 鳥取自動車道の開通経緯

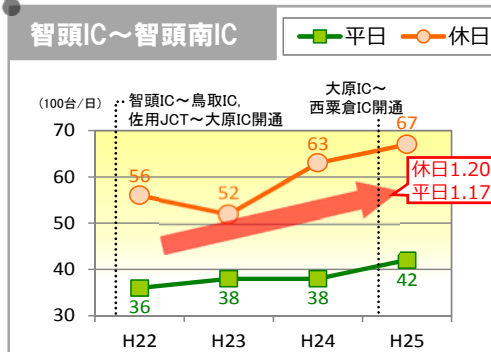
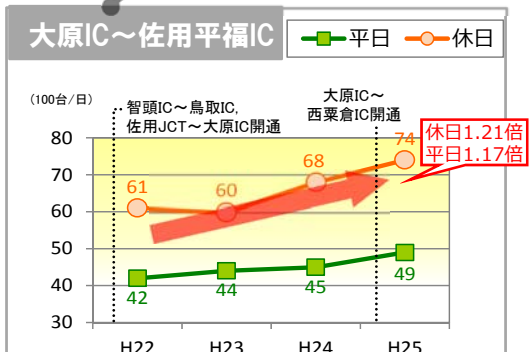
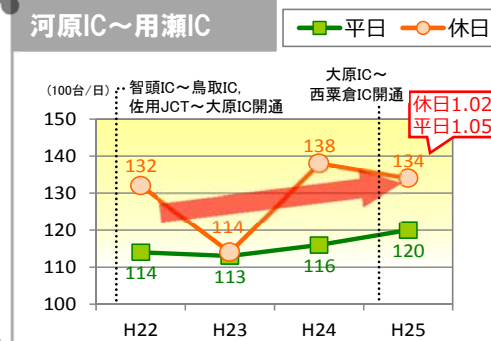
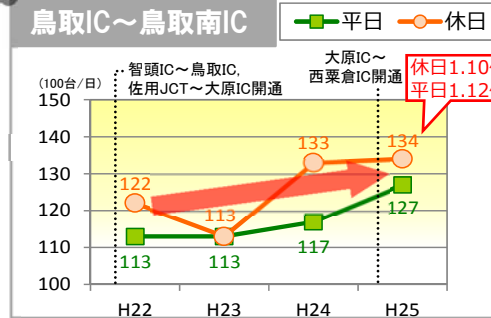


# 2. 交通の変化

## (1) 交通量の推移

・鳥取自動車道のH25年の交通量は、H22年(鳥取県内全線開通後)と比較すると、平日で4~30%、休日で2~28%増加しています。

### 区間別交通量の推移



### 平日交通量(H22~H25)

計測区間	交通量(台/日)				伸び率 H25/H22
	H22. 11.11(木)	H23. 10.26(水)	H24. 10.11(木)	H25. 11.7(木)	
鳥取IC~鳥取南IC	11,300	11,300	11,700	12,700	1.12
鳥取南IC~河原IC	12,800	12,700	13,200	14,300	1.12
河原IC~用瀬IC	11,400	11,300	11,600	12,000	1.05
用瀬IC~智頭IC	9,500	9,400	9,700	9,900	1.04
智頭IC~智頭南IC	3,600	3,800	3,800	4,200	1.17
西粟倉IC~大原IC	—	—	—	4,400	—
大原IC~佐用平福IC	4,200	4,400	4,500	4,900	1.17
佐用平福IC~佐用JCT	2,300	2,500	2,500	3,000	1.30

### 休日交通量(H22~H25)

計測区間	交通量(台/日)				伸び率 H25/H22
	H22. 11.7(日)	H23. 10.23(日)	H24. 10.21(日)	H25. 11.17(日)	
鳥取IC~鳥取南IC	12,200	11,300	13,300	13,400	1.10
鳥取南IC~河原IC	13,900	12,800	14,600	14,800	1.06
河原IC~用瀬IC	13,200	11,400	13,800	13,400	1.02
用瀬IC~智頭IC	11,700	10,000	12,200	11,900	1.02
智頭IC~智頭南IC	5,600	5,200	6,300	6,700	1.20
西粟倉IC~大原IC	—	—	—	7,200	—
大原IC~佐用平福IC	6,100	6,000	6,800	7,400	1.21
佐用平福IC~佐用JCT	4,300	4,000	5,000	5,500	1.28

# 2. 交通の変化

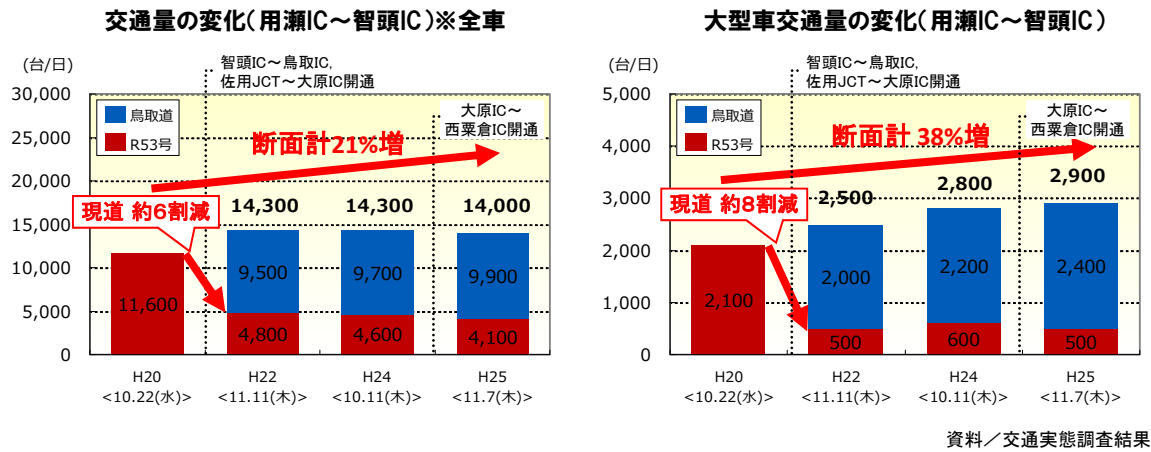
## (2) 断面交通量の変化

- 鳥取自動車道の開通により、交通量が増加しています。用瀬IC～智頭IC間では、鳥取自動車道と国道53号を合わせた断面交通量が21～40%増加しました。
- 特に大型車交通量が増加傾向であり、南北方向の物流が増えていることが伺えます。
- 国道53号を通行していた交通量の約6～8割が鳥取自動車道へ転換しています。

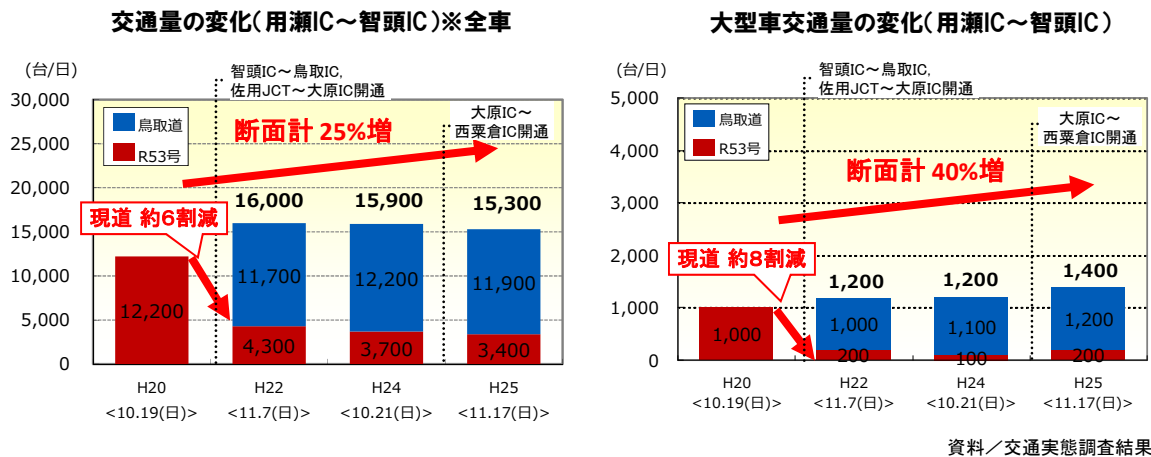
### 交通量確認断面



### 平日



### 休日

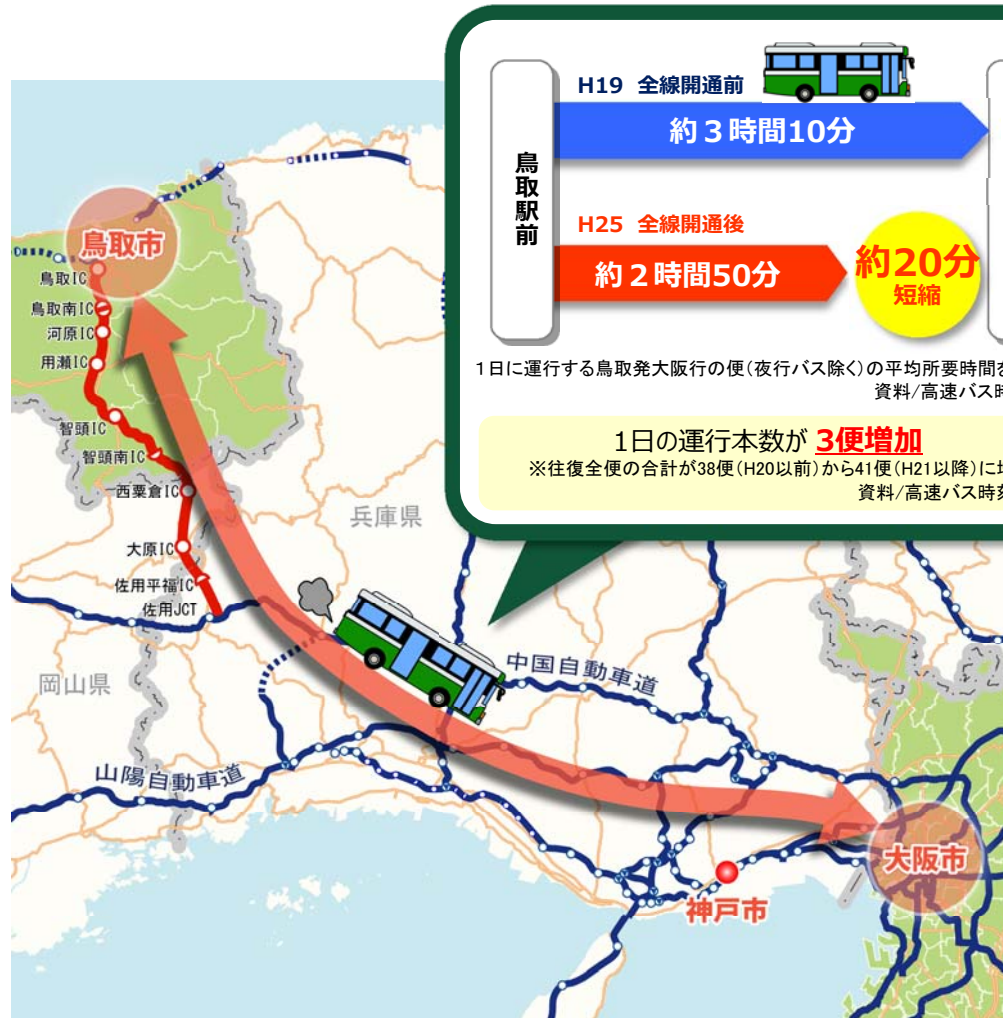


### 3. 整備効果 (鳥取県内)

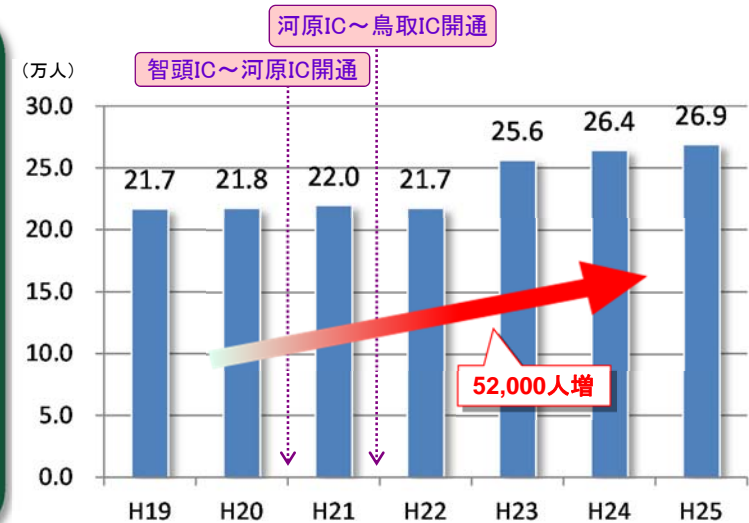
#### (1) 広域交流人口の増加 (高速バスの利便性向上)

- ・鳥取～大阪間の高速バスの所要時間が約20分短縮し、運行本数も増え、利用客数は増加しています。
- ・鳥取自動車道の開通によって、高速バスの利便性が向上しています。

#### 鳥取～大阪間の高速バスの所要時間



#### 鳥取～神戸・大阪間の高速バス利用客数



資料: 鳥取市市勢要覧

- ・一般道よりも運転がしやすくなったほか、事故の確率が低くなったことで、乗務員や乗客に与える**ストレスや疲労が減った**ようです。
- ・お客さんにも、**快適性が高い鳥取自動車道を走行する便が選ばれている**と聞いています。

H25.11月ヒアリング



# 3. 整備効果 (鳥取県内)

## (2) 観光入込客数の増加

・減少傾向だった鳥取県東部の観光入込客数は、鳥取自動車道の開通に伴い、鳥取砂丘などの鳥取市の観光施設を中心として増加傾向となっています。

### 鳥取自動車道沿線の主な観光施設での入込客数

鳥取砂丘を中心に鳥取市内の観光施設で入込客数が増加

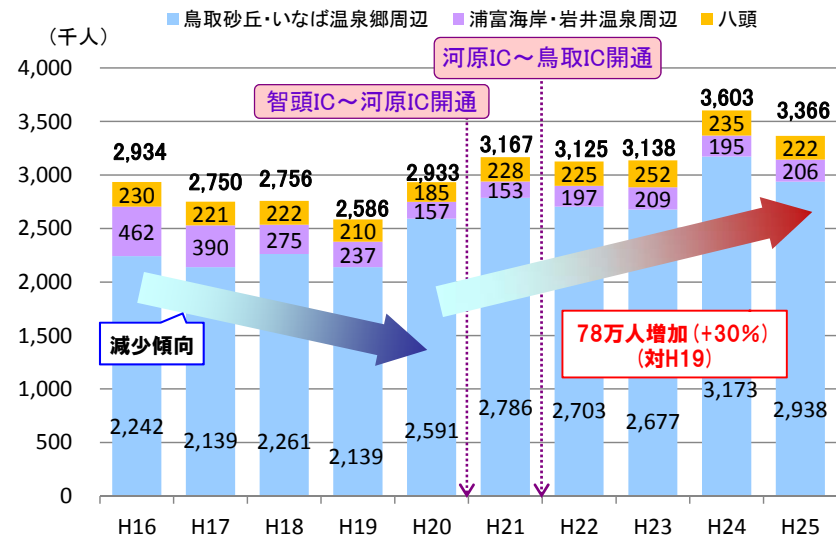


### 県外からの観光客

鳥取県東部地域の主要観光施設の観光入込客数H19→H25の比較  
資料／鳥取市観光入込客数(1月～12月)

### 鳥取県東部の観光入込客数

鳥取道開通によるアクセス性の向上と全線開通によるPR活動の活発化により、観光客が大きく増加



資料／鳥取県観光客入込動態調査結果

・鳥取道の開通に伴って、**売上・利用者数ともに年々10%程度の増加**が続いています。  
H25.11月ヒアリング



道の駅清流茶屋かわはら 駅長

・**全線開通によって、ますます速く、近くなった鳥取の観光PRがしやすくなりました。**  
・乗り降り自在なので、**沿線の観光スポットへの立ち寄りも便利**で、ご案内がしやすくなりました。  
H25.11月ヒアリング



鳥取県観光戦略課

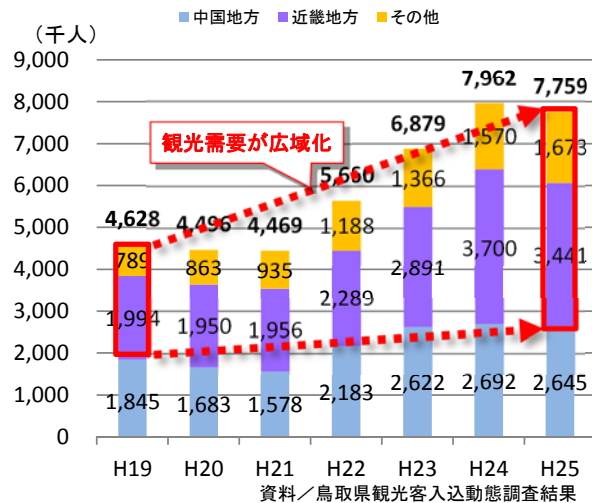
# 3. 整備効果 (鳥取県内)

## (3) 観光集客エリアの広域化

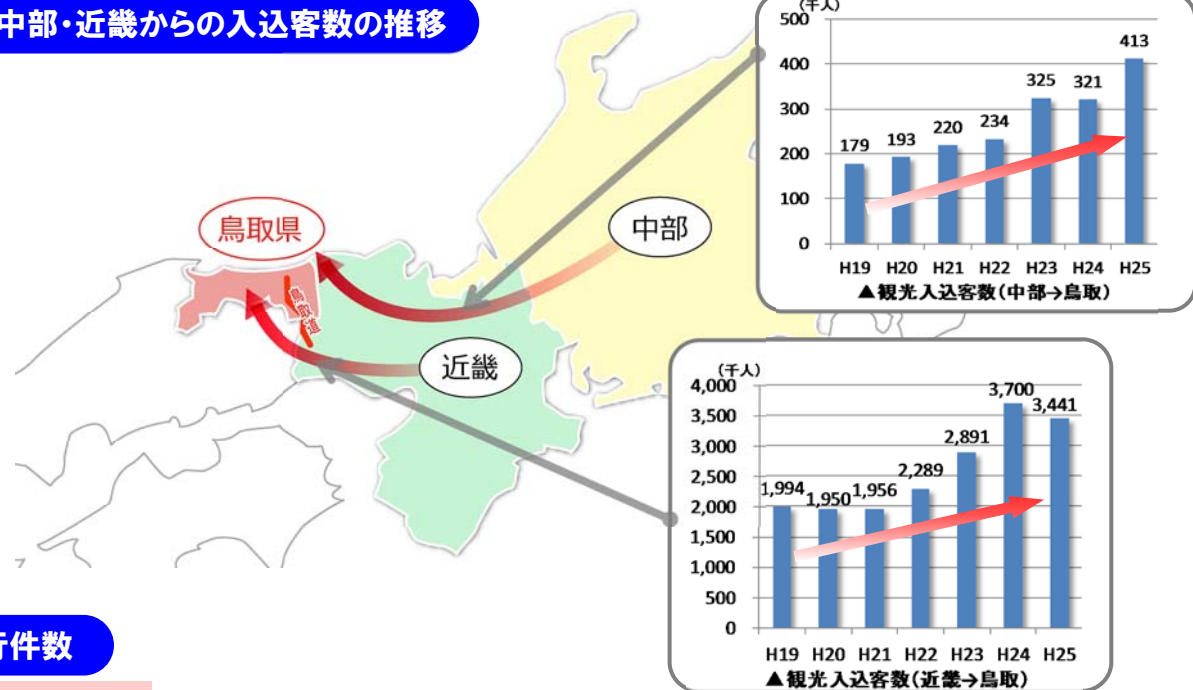
- ・鳥取自動車道の開通に伴い、特に中部地方や近畿地方からの観光客が増加しています。
- ・中京圏からの企画旅行件数が増加するなど、観光集客エリアが拡大・広域化しています。

### 出発地分布の推移

特に中国地方以外からの県外客が増加

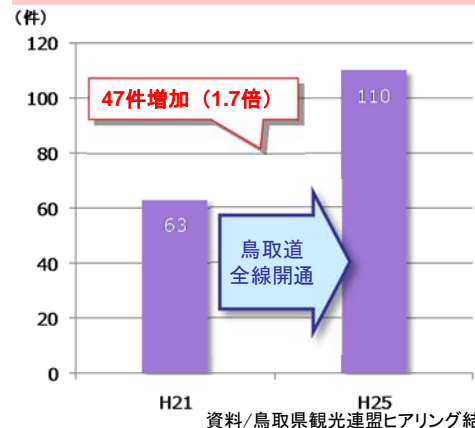


### 中部・近畿からの入込客数の推移



### 中京圏発の企画旅行件数

中京圏からの企画旅行件数が増加



・全線開通による山陰大周遊がPRされ、企画旅行が生まれやすくなり、**中京圏からの観光客が増えています。**

H25.11月ヒアリング

鳥取県観光連盟

・近畿地方からの問い合わせはもちろん、**中部地方に住まいの方からもマイカーでの旅行に関して問合せを頂くようになりました。**

H25.11月ヒアリング

鳥取県観光戦略課



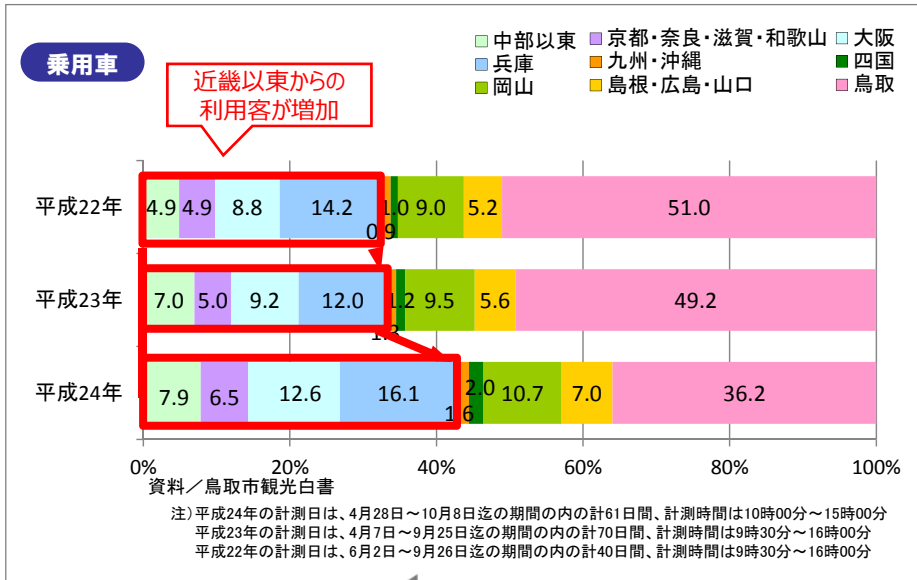
# 3. 整備効果 (鳥取県内)

## (4) 交流人口の広域化(道の駅利用客の出発地分布の変化)

・鳥取自動車道の開通以降、「道の駅」では、近畿以東からの利用者の割合が増加しており、交流人口が広域化しています。

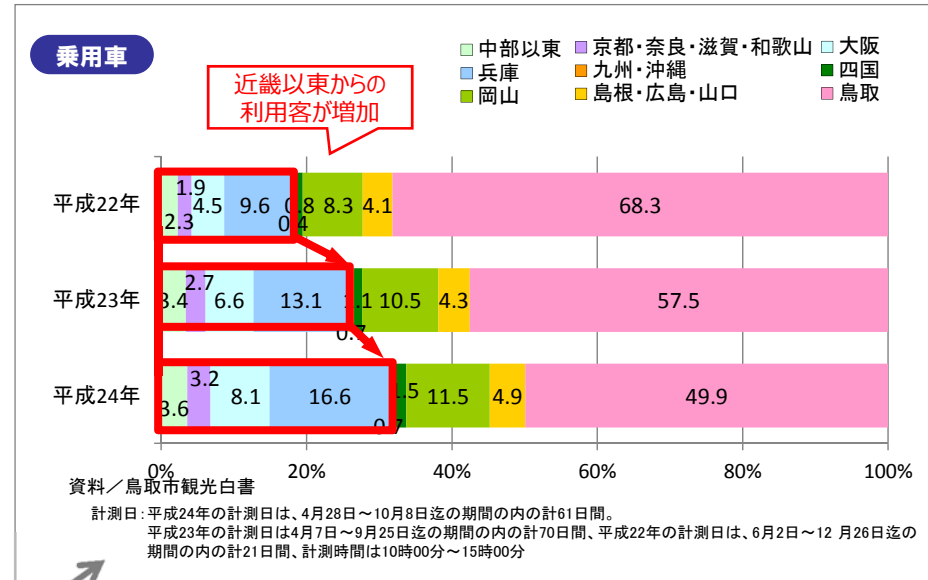
道の駅「神話の里白うさぎ」の地域別利用状況

乗用車での来訪者のうち、近畿・中部以東からの割合が前年と比べ約10%増加



道の駅「清流茶屋かわはら」の地域別利用状況

乗用車での来訪者のうち、近畿・中部以東からの割合が前年と比べ約6%増加



・**無料の高速道路のため、往来しやすくなった**との声を聞きます。  
 ・**関西圏からのお客さんが今まで以上に増えたほか、中京圏からのお客さんも増えている**ように感じます。  
 ・また、**愛知県など中京圏からの観光バスも頻繁に見かける**ようになりました。  
 H25.11月ヒアリング



## 2. 整備効果 (全線開通による効果)

### (5) 観光ルートの変化

・鳥取自動車道の開通により移動時間が短縮されたことで、立ち寄り箇所の増加や滞在時間の延長など、観光ツアーのコース設定が多様化しています。また、山陰地方における広域的な観光連携が強化されています。



#### 鳥取道を利用した観光ツアー(例示)

ツアーNo.	出発地	日程(宿泊地)	主な周遊観光地
1	豊田市(愛知県)	2泊3日(松江、鳥取)	足立美術館⇒松江(泊)⇒出雲大社⇒由志園⇒鳥取(泊)⇒緑化フェア⇒鳥取砂丘
2	大阪市	1泊2日(三朝)	鳥取砂丘⇒白兔海岸⇒三朝(泊)⇒出雲大社⇒由志園⇒大漁市場
3	浜松市(静岡県)	2泊3日(松江、三朝)	足立美術館⇒松江(泊)⇒出雲大社⇒境港⇒三朝(泊)⇒白壁土蔵群⇒鳥取砂丘
4	大津市(滋賀県)	1泊2日(米子)	鳥取砂丘⇒米子(泊)⇒境港⇒出雲大社⇒石見銀山
5	明石市(兵庫県)	1泊2日(湯梨浜)	鳥取砂丘⇒燕趙園⇒湯梨浜(泊)⇒八重垣神社⇒出雲大社
6	高山市(岐阜県)	1泊2日(三朝)	鳥取砂丘⇒三朝(泊)⇒三徳山三佛寺⇒燕趙園
7	池田市(大阪府)	1泊2日(鳥取若井)	鳥取砂丘⇒梨狩り⇒鳥取若井(泊)⇒若桜鉄道SL館⇒三百田氏住宅⇒賀露港⇒
8	熊本市	2泊3日(広島、鳥取)	宮島⇒広島(泊)⇒出雲大社⇒由志園⇒白壁土蔵群⇒鳥取(泊)⇒鳥取砂丘
9	別府市(大分県)	1泊2日(鳥取)	佐賀関港⇒金毘羅⇒鳥取砂丘⇒鳥取(泊)⇒足立美術館⇒出雲大社

資料/鳥取県観光連盟



資料/鳥取県・鳥根県

・時間短縮によって、**立ち寄り箇所を増やしたり、滞在時間を長くするようにしたツアー**もあります。

H25.11月ヒアリング



鳥取県観光連盟

・鳥取自動車道、松江自動車道の開通をきっかけに、山陰両県をぐるりと周遊する広域観光「山陰大周遊」を提案しています。 H25.11月ヒアリング



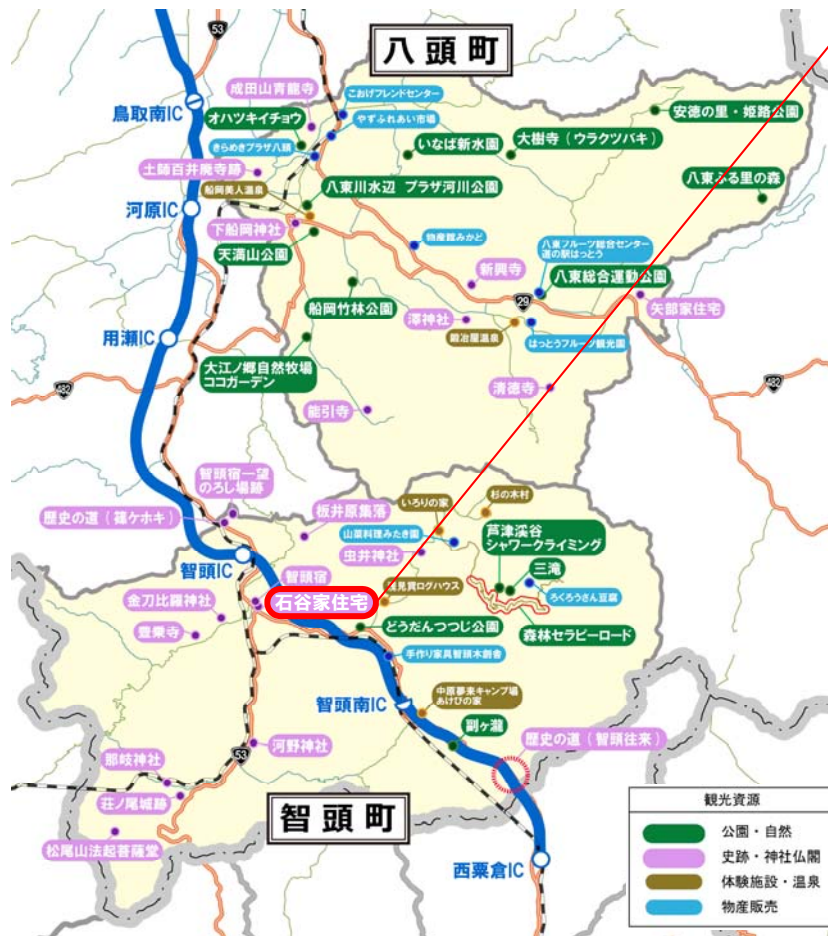
鳥取県観光戦略課

### 3. 整備効果 (鳥取県内)

#### (6) 沿線地域の観光振興

- ・鳥取自動車道の整備は、沿線近傍の智頭町や八頭町などの観光施設のアクセス性向上にも貢献しています。
- ・八頭町や智頭町などの観光施設で、鳥取自動車道開通による立ち寄り客の増加が実感されています。

#### 八頭町・智頭町の観光施設

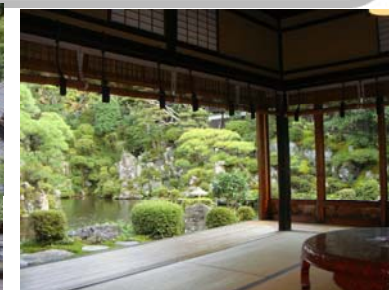


資料/智頭町全域マップ、八頭町観光ガイド

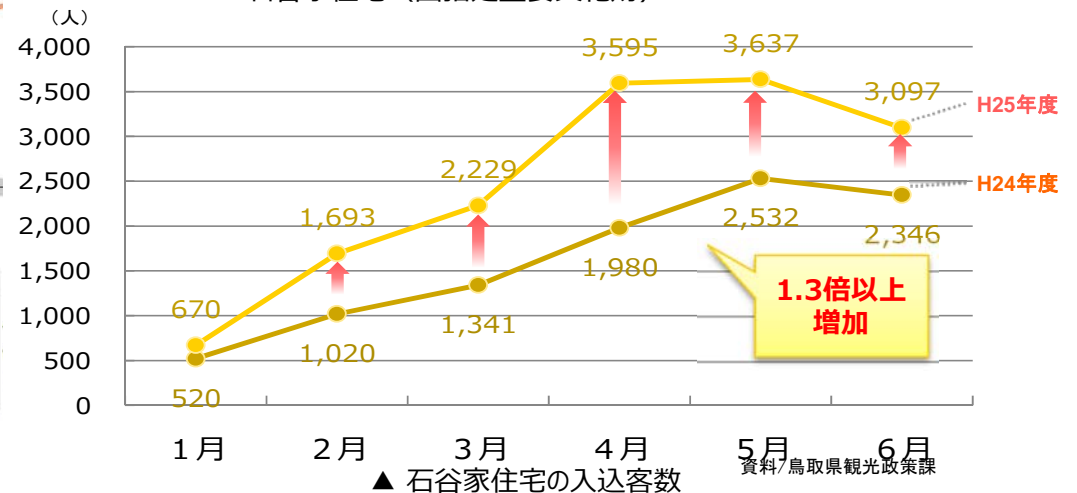
- ・関西方面から鳥取自動車道を利用した場合、鳥取県の玄関口として、智頭に立ち寄りいただきやすくなりました。
  - ・石谷家住宅には、**全線開通後の春は前年同時期の約1.3倍**のお客さんが来ていただきました。
- H25.12月ヒアリング



一般財団法人  
因幡街道ふるさと振興財団  
事務局長



▲ 石谷家住宅 (国指定重要文化財)



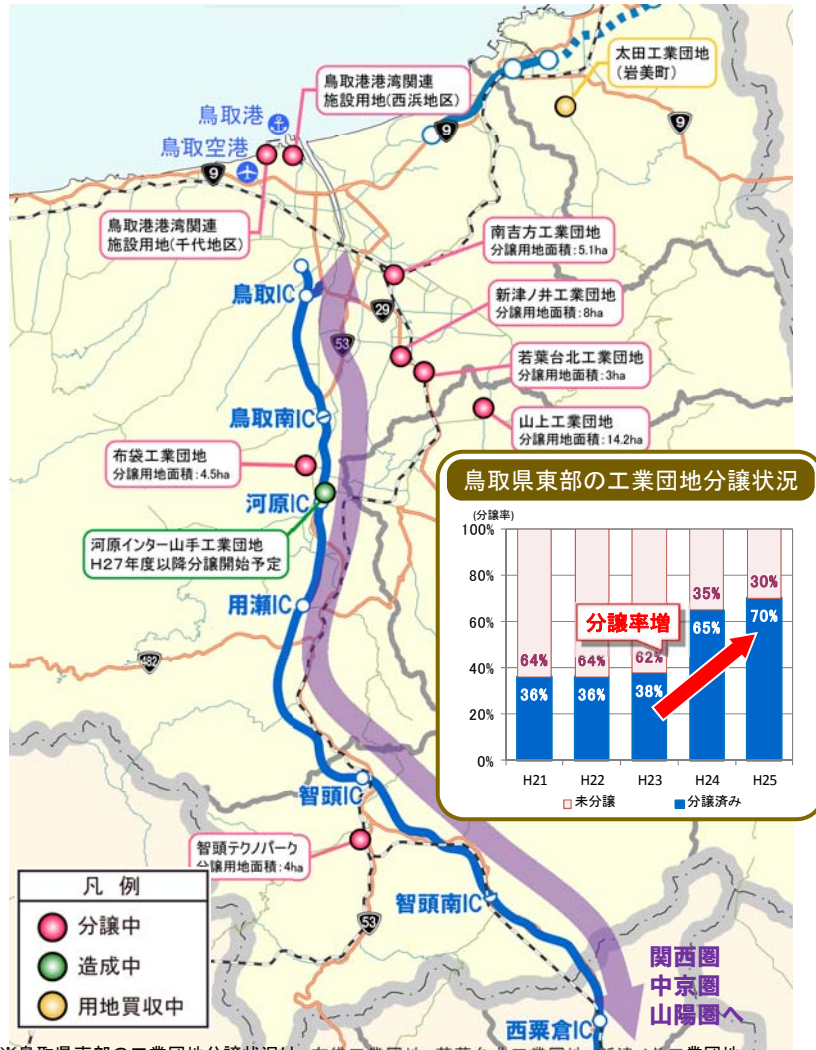
資料/鳥取県観光政策課

# 3. 整備効果 (鳥取県内)

## (7) 企業進出の促進

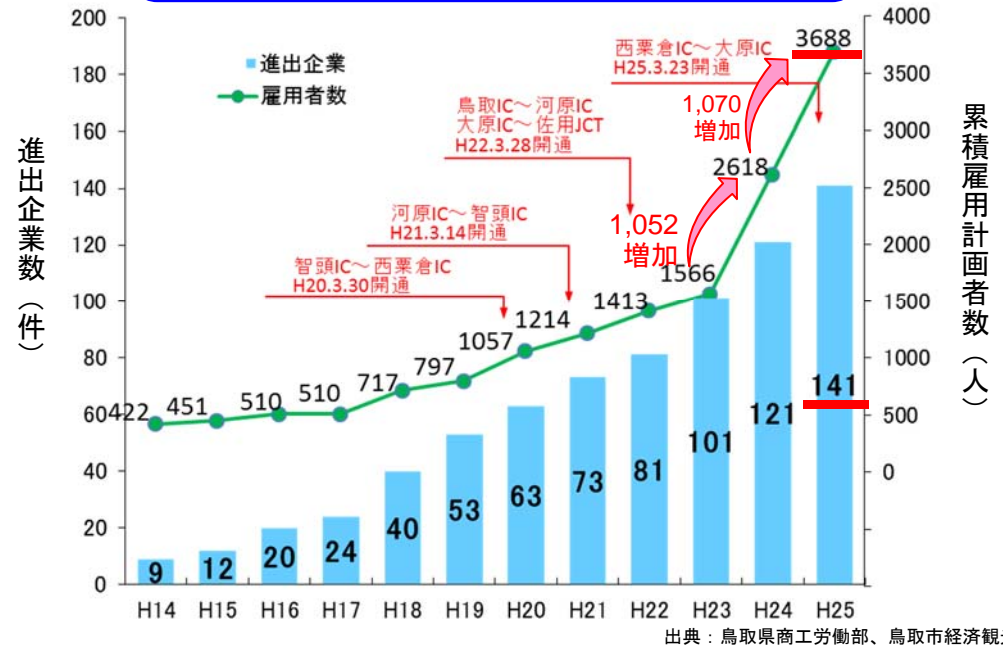
- ・鳥取自動車道の開通にあわせて、鳥取市への企業誘致件数が増加し、新たな雇用が創出されています。
- ・また、工業団地の分譲率も上昇しています。

### 工業団地の分譲状況、企業進出状況



※鳥取県東部の工業団地分譲状況は、布袋工業団地、若葉台北工業団地、新津ノ井工業団地、南吉方工業団地、山上工業団地、智頭テクノパークの分譲状況より算出  
 資料/鳥取県商工労働部ヒアリング結果

### 鳥取県東部地域の企業進出状況 (H14以降累積)



・**無料の高速道路**であることや、**関西圏との所要時間**から、**進出を検討いただいている企業が増えています。**  
 ・鳥取道の開通に伴い、関西での技術展への出展や、河原インター山手工業団地の整備などを行い、**誘致活動の新たな展開に活用しています。**

H25.11月ヒアリング



## 3. 整備効果 (鳥取県内)

## (8) 企業の物流活動支援

- ・鳥取自動車道の全線開通により、鳥取市に物流拠点が開設され、鳥取市周辺の商圈が拡大しているケースがあります。
- ・また、大型車を運転する上での精神的な負担の軽減や燃費の向上が実感されています。

## 企業進出による物流の変化



## 【企業の声】

- ・鳥取自動車道の開通は、鳥取市への進出要因の一つとなっています。
- ・鳥取市へ輸送する場合、以前は米子市を經由していましたが、鳥取市に拠点を開設したことで、**前日夜に関西を出発した商品を翌日朝に鳥取市内で販売**することができるようになりました。
- ・**鳥取市周辺地域における新規顧客の獲得につながり、商圈が拡大**しています。
- ・また、拠点開設にあたり、**鳥取市を中心として新規の雇用を確保**しました。

H26.2月ヒアリング



物流企業

## 【ドライバーの声】

- ・事故や野生動物との接触などの**精神的負担が現道と比べて軽減**しました。
- ・停止や加減速は大型車にとって大きな負担となります。**一定の速度で走行できる高速道路路がつながることは、精神面にも燃費面にも大きなメリット**となっています。

H26.2月ヒアリング

物流企業  
ドライバー

### 3. 整備効果 (鳥取県内)

#### (9) 水産物の流通拡大

- ・鳥取港や網代港などの漁港と関西圏との所要時間が短縮されたことで、水産物の直販事業が行われるようになりました。
- ・今後、取引件数や売上高の増加による事業の発展が期待されています。

#### 直販事業イメージ図



資料/鳥取県漁業協同組合ヒアリング結果

#### 直販事業スケジュール(例)

AM 8:00	【 競り 】
	鳥取港・網代港 ・競り (商品の買い付け) ↓ ・出荷準備 (商品の積み込み 等)
AM 10:00	【 出発 】
3時間以内 (鳥取道利用)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-right: 10px;">トラック輸送</div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="margin-left: 10px;"> <p>※ 出発・到着時刻は その日のうちに販売することを目標に 移動時間を見込んで設定</p> </div> </div>
PM 1:00	【 到着 】
	小売店 (大阪府 等) ・加工 (商品化) ↓ ・商品陳列
	【 消費者へ 】

- ・水揚げされた水産物を、**その日のうちに関西圏で販売**することができるようになりました。  
もともとニーズがありました、**鳥取道の開通による時間短縮によって実現**したものです。
- ・定時性が確保されているので、販売店側も販売準備ができます。
- ・取引先の数も年々増えており、**今後の事業の発展に期待しています。**

H25.12月ヒアリング



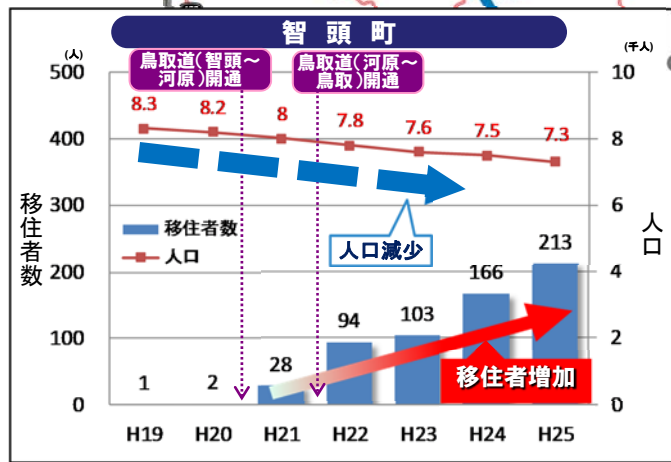
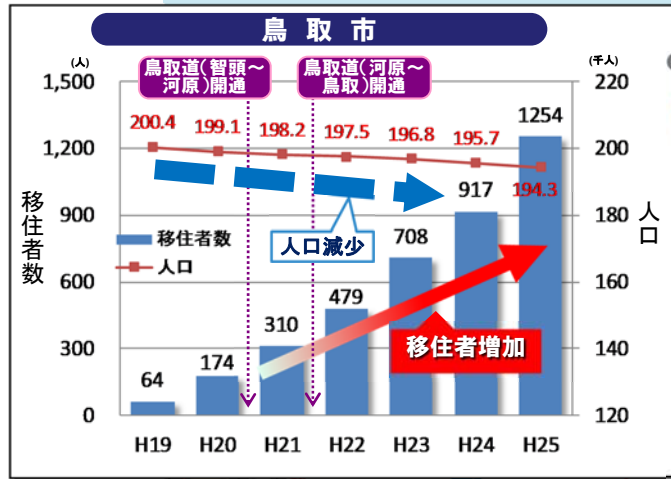
鳥取県漁業協同組合  
JFかろいち店 店長

# 3. 整備効果 (鳥取県内)

## (10) 地域活性化への寄与(定住促進)

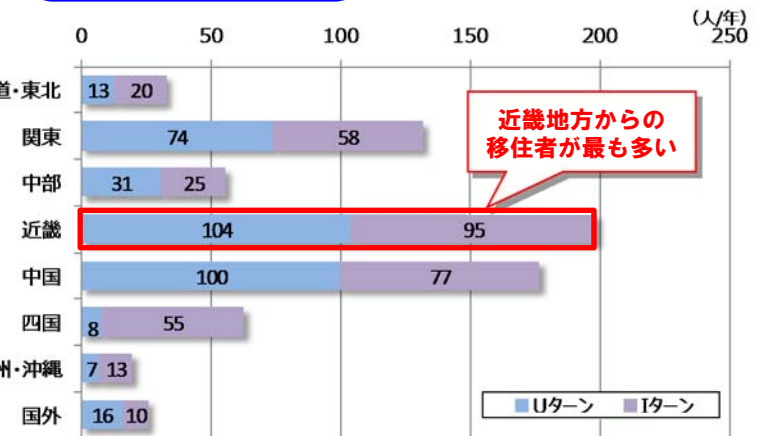
- ・鳥取自動車道の開通とともに、沿線市町への移住定住者数が増加傾向となっています。
- ・特に、関西圏から沿線市町への移住定住が多く、また地域づくり活動への参加に鳥取自動車道が貢献しています。

鳥取県東部への移住定住者数(累計)



移住定住者数・・・各市町村の窓口の相談等を通して、移住定住した人数  
 転勤者、学生及び県内他市町村からの移住者や一時的な帰郷者は除く  
 資料/鳥取県とっとり暮らし支援課ヒアリング結果  
 資料/鳥取県年齢別推計人口

移居前地域の分布



※H24年度の鳥取県への移住定住者706人の移居前地域  
 資料/鳥取県とっとり暮らし支援課ヒアリング結果

・鳥取道の開通は、移住促進のほか、森林セラピーや民泊などで智頭町を訪れて頂く際に大いに役立っています。  
 ・森林セラピーについては、**リピーターの方も多く、ガイドとして大阪や神戸などからいらっしゃる方もいます。これは関西圏との距離が近いおかげです。** H25.12月ヒアリング



智頭町企画課



資料/鳥取県

# 3. 整備効果 (岡山県内)

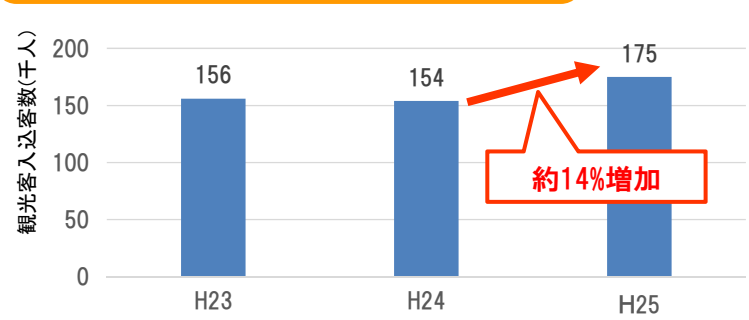
## (1) 観光施設への来訪者数増加

・鳥取自動車道の全線開通により、岡山県内における沿線観光施設への来訪客が増加しています。また、東海・関東などからの来訪者の増加も実感されています。

### ▼大原IC～西粟倉IC周辺の主な観光施設・集客施設



### 西粟倉・道の駅「あわくらんど」の観光客入込客数



### 武蔵資料館の観光客入込客数



資料/岡山県観光客動態調査報告書



武蔵の里  
の声

- ・全線開通後のゴールデンウィーク時期でツアー客の来訪者が資料館で約1.9倍、宿泊施設で約1.4倍増加しました。
- ・また、東海・関東など遠方からの来訪者の増加も実感しています。

資料/ H25年10月ヒアリング調査結果



西粟倉・森の学校  
の声

- ・土日の施設来訪者が1日あたり約50～60人。開通前と比較して1.5倍以上増えています。

資料/ H26年2月ヒアリング調査結果

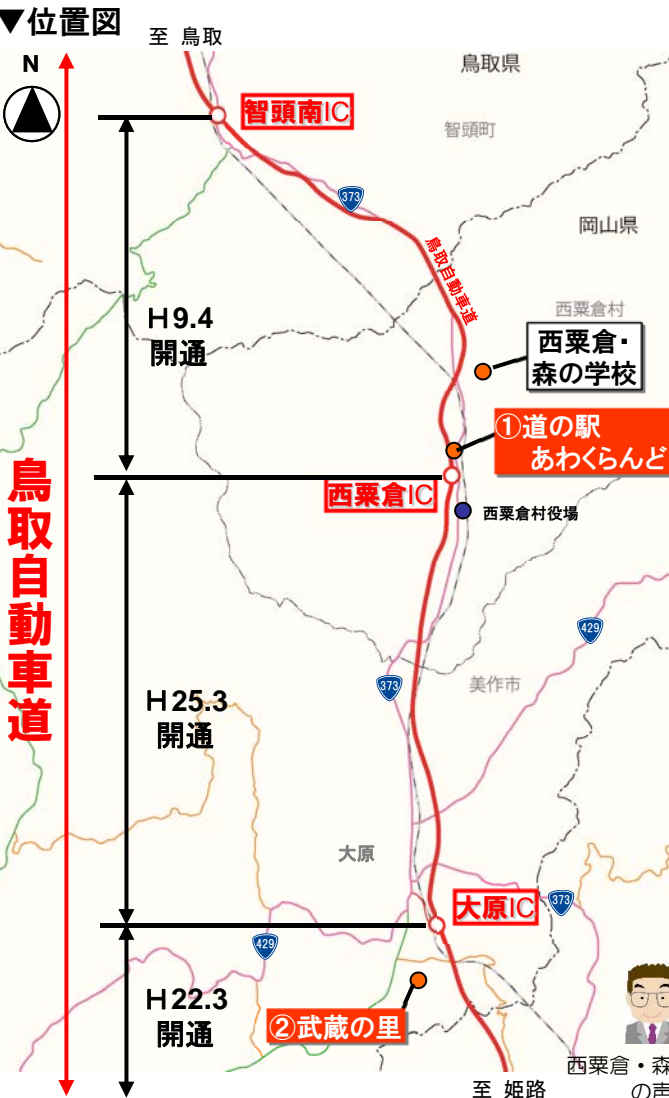
※西粟倉・森の学校：主に木材製品を対象とした商品の販売施設、ワークショップ施設、展示場等が併設した施設



# 3. 整備効果 (岡山県内)

## (2) 交流人口の広域化と沿線地域の交流促進

- ・全線開通後に鳥取自動車道を利用した方のうち、約28%がはじめての利用であり、近畿以東からの来訪が多くなっています。
- ・従来から鳥取自動車道を利用している方のうち、約半数の方の利用が増えています。また、利用が増えた方のうち、月1回以上利用する方は、開通前と比べ約2.5倍に増えており、地域間交流が増加しています。

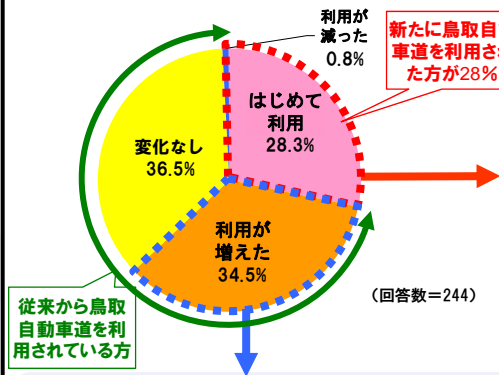


### 【大原IC～西粟倉IC周辺施設来訪者アンケート調査】

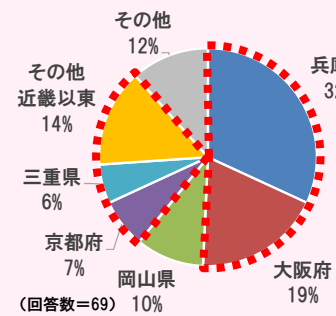
#### 【調査概要】

調査実施日	平成25年10月11日(土)～12日(日)
調査箇所及び回答者数	①あわくらんど:195名、②武蔵の里:72名、合計 267名

#### 全線開通後の鳥取自動車道の利用状況の変化

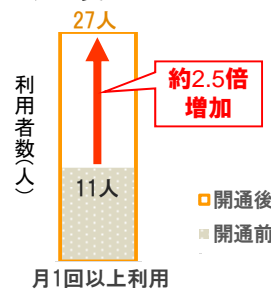


#### ▼新たに鳥取自動車道を利用された方の居住地

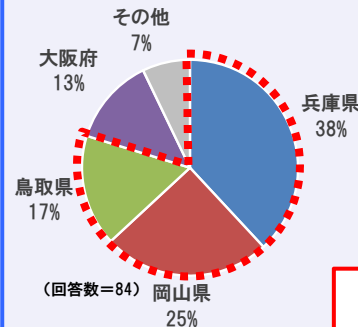


近畿以東からの新たな来訪が多い

#### ▼利用が増えた方のうち、月1回以上利用する方の変化



#### ▼利用が増えた方の居住地



#### 利用者の声

- ・鳥取自動車道が開通したことで、道がスムーズになり「あわくらんど」に来やすくなりました。(鳥取県在住)
- ・道路が開通し、大幅に時間が短縮されて帰省しやすくなり回数が増えました。(兵庫県在住)
- ・道路が開通したことで、仕事の行き来が早くなりました。(岡山県在住)

鳥取自動車道沿線の地域間交流が増加

・大阪方面から来訪されるお客さんから、鳥取自動車道の全線開通により西粟倉村へ来やすくなったと聞いています。

資料/ H26年2月ヒアリング調査結果

道の駅あわくらんどの従業員

・鳥取自動車道の全線開通により美作市大原から西粟倉村への通勤が便利になりました。

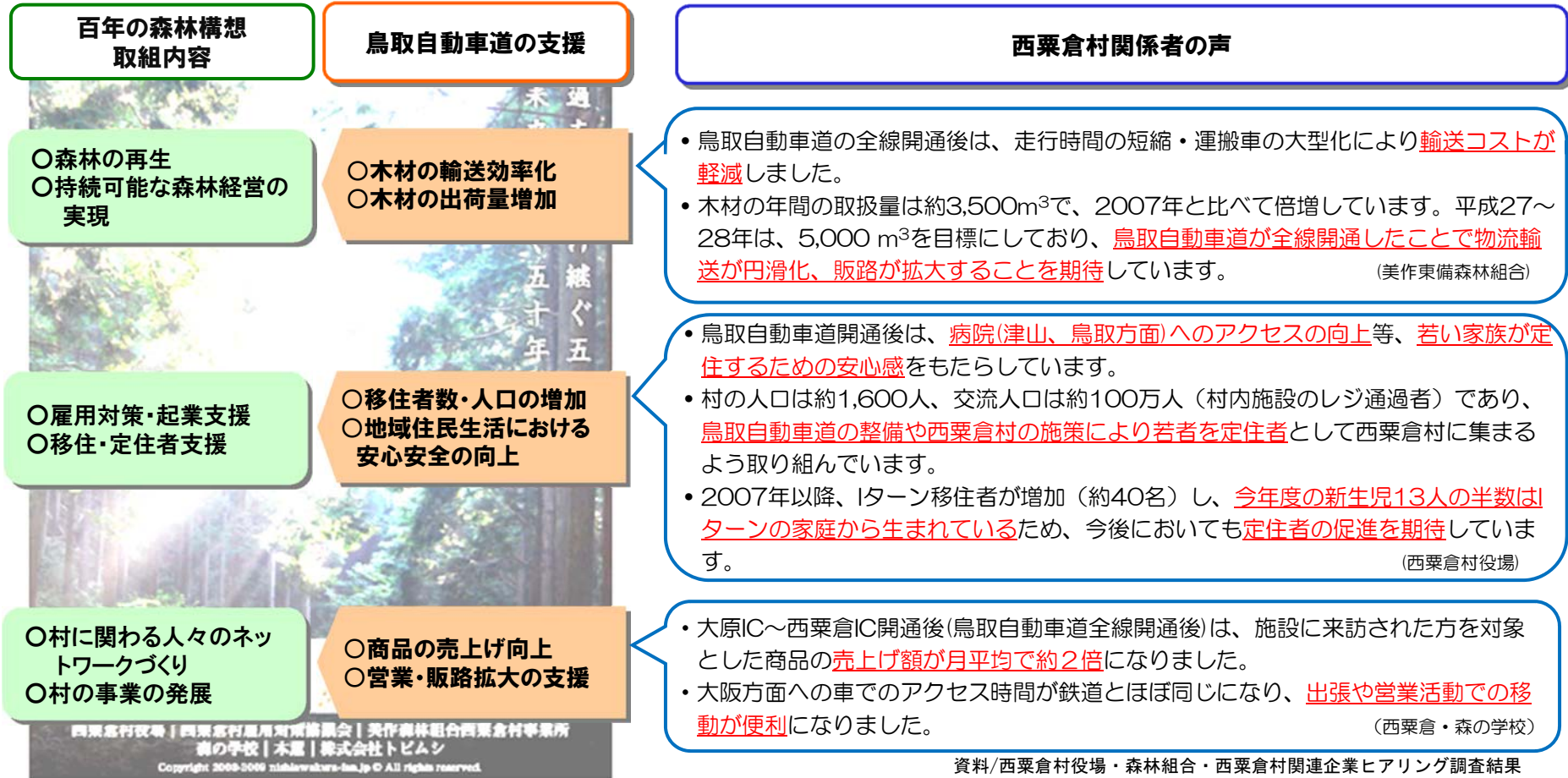
資料/ H25年10月ヒアリング調査結果

# 【参考】鳥取自動車道への期待（岡山県内）

## (3)地域活性化の活動支援

- ・西粟倉村では、持続可能な森林経営を目指した「百年の森林構想」を掲げ、地域再生に取り組んでいます。
- ・鳥取自動車道の全線開通による西粟倉村の「百年の森林構想」への支援が期待されています。

### 鳥取自動車道の全線開通による「百年の森林構想」の取組に対する支援への期待



資料/西粟倉村役場・森林組合・西粟倉村関連企業ヒアリング調査結果 (H25.10～H26.2)

### 『西粟倉村 百年の森林構想』

これまで個々の森林所有者の手によって育まれてきた約50年生の森林を今後も適切な管理を行い、美しい100年生の森林に囲まれた上質な田舎の実現を図ることを目的としています。

具体的には、木材品の製造販売や農産物販売、体験型ツアーなど、地域資源の循環的な利用を目指す取り組みを行っています。